

季刊 ジャネット Ja-Net

No.27

2003年10月25日発行

- お便りコーナー 3
- あちこち日本語ご紹介 [兵庫県 神戸市] 4
- あちこち日本語ご紹介 [カンボジア王国 シェムリアップ州] 5
- 教材紹介
『日本語文法演習話し手の気持ちを表す表現モダリティ・終助詞』 6
- 『完全マスター漢字 日本語能力試験 1級レベル』 7
- なんでも情報BOX 8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。[にほんご]を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーイーネットワーク

巻頭寄稿

日本文化を外国のみなさんに知ってもらいたい

◆ NPO法人グローバルシアター和の輪 代表
城谷小夜子



夢は世界へ

「不中心か中心か。まことの心は女房の、その一筆の奥深く、誰(た)が文も見ぬ恋の道、別れてこそは帰りけれ・・・」

今日も、近松門左衛門のせりふ覚えです。初日が10月23日。26日まで築地本願寺さんの境内にあるブディストホールで、近松生誕350年を記念して「心中天網島(しんじゅうてんのあみじま)」を一人で17役演じます。283年前に書かれた原文での上演ですので、動きや音楽で工夫し、ことばのわかりにくさによる観客のフラストレーションをなくしたいと思っています。それにしても、近松はなんと美しい日本語を創造したのでしょうか。私は近松の文章に魅了されています。

言語は国を表しているといえます。人類が作り出した最高のもの、それはことばです。昨今日本人の日本語能力が衰えているといわれていますが、朗読をやりたい人が増え、斉藤孝さんの本も人気があり、短歌や俳句も盛んです。生活面でも、園芸と盆栽に若い人たちも興味を持ち、夫は20年間、毎年梅干を漬けています。とうふ、納豆、海苔、お茶もよく売れています。生活はすっかりアメリカナイズされたように映りますが、どこい、縄文人のDNAがどくどくと流れていて、ことば、味、色、情感、日本人独特の美意識ですべての日本人が毎日を生きています。

10月の近松の舞台は、きっと多くの日本人の心をつつものになると信じています。私は近松のこの作品を、日本語のまま世界の人たちに見てもらいたいと思っています。きっと、外国の方たちの心に響くと思います。

11月に香港大学へ行きます。来年5月にサンフランシスコとロサンゼルス、再来年にはエジンバラで公演と夢は広がります。

京都西陣から

私は京都の西陣で生まれ育ちました。家は機を織っていました。「ガッチャンガッチャン」という大きな機の音の中で育ちました。小学校で習字、そろばん、中学で華道、ダンス、高校で合唱、茶道を習いました。京都大学で聴講生としてインド哲学を勉強していたとき、落語研究会に入り、出囃子を弾くために長唄を習いだし、そしてアメリカ旅行のために英語のサークルにも入りました。習い事が大好きでした。

人生には、一見不運と見えることが、実は次のステップへの扉の場合があります。

母が39歳という若さで亡くなったことはショックでした。私はまだ10代でしたが、「人間はいつ死ぬかわからない。だったらやりたいことをやろう」と決意し、俳優の道を目指し東京に出てきました。

運良く前進座に入座できて、そこで伝統演劇の俳優としての訓練と色々な役をやらせていただき、日本中の舞台に立ち、その上、プロデューサーとしての企画から営業、劇団運営まで学びました。自分を磨きたいと、日舞、三味線、琴、長唄、清元、義太夫、小鼓、太鼓、能、狂言、野口体操、歌・発声、ジャズダンス、気功、太極拳、・・・稽古事はますます増えました。

10年前にエジンバラフェスティバルに参加したのをきっかけに、ロシアに招かれ、サンクトペテルブルグの演劇大学で日舞、歌舞伎の所作、立ち回りなどを教えるようになりました。80年の歴史ある大学の中で、日本人教師第1号という栄光を与えられました。私がまさに日本でした。日本文化をもっと学び、海外に伝えたいという思いがどんどん強くなっていきました。

「和の輪」を立ち上げ

長年煩っていた義母が、遂に3年前に寝たきりになったことも不運のようでしたが、転換期でもありました。25年お世話になった前進座を、介護のため退座。しかしすぐに芝居の話が来て「あれよあれよ」と「グローバルシアター和の輪」というNPO劇団ができました。ほんの2年前のことです。

私の主宰している「和の輪」は、日本の伝統文化を継承していく一方、それを世界中に提供して、世界の舞台や映像文化に刺激を与えたいという思いを込めています。海外での授業やインタビューでは、いつも「日本という小さな国で、こんなに素敵な文化が生まれたんですよ」と誇りを持って語ってきました。

外国で日本と出会うこともあります。

ロシアで、『蝶々夫人』を観劇しましたが、布団を靴で踏み、畳の間でステッキを使う、扇子はバタバタ大きくあおぐ、帯もきちんと結ばれていない。着物も左前に着ていました。左前に着るのは死んだときです。しかし、彼らに日本の礼儀作法や着物の着方などをきちんと教えると、ちゃんと理解してくれます。いかに日本が遠い国であるのか、知るチャンスに恵まれていないことを感じました。

活動はアメリカに広がり、念願のエル大学大学院でも教えました。大成功したのは、日本文化のもつ深みと魅力そして美しさの賜物です。ただし、私の能力以上のことを伝えられませんか、これからも修行を続けていきます。

京都という歴史のある街で生まれたことは運がよかった。日本伝統芸術を仕事として続けてこられたこともツイてました。健康なからだと楽天的なところは両親からの賜物です。そして、日本のすばらしさを伝えたいなあ、と心から思っているといい人との出会いがやってきます。

香港大学の学生との出会い

今年の夏「香港大学で日本語を学んでいる社会人の学生さん22人に日本文化を披露してほしい」とお話があり、喜んでお受けしました。

日本語の発音（香港の皆さんにはタ行が難しいようです）、着物の着付け、ゲーム（あっちむいてほい）、歌、江戸時代の早口ことばを一緒にやりました。大変好評で、担当のタン先生から「11月に香港に来てください」とうれしいお誘いがありました。みんなで楽しく笑えるような授業もたくさんやりたいし、「日本文化のタベ」では地元の太鼓や三味線の方と共に、私は日舞や近松「心中天網島」の舞台をやらせてもらいます。この間の留学生との再会も楽しみです。

世界一難しい言語である日本語を学ぼうとしてくれている外国の方たちは、とてもありがたい貴重な人たちですから、励ましてきたいと思っています。

「競争」でなく「共創」の世の中へ

日本は本当に美しい国だと思います。そして魂の深い誠実な人たちがたくさんいます。しかし、先日新聞に「3人に2人が将



タ行の発音が難しそうでしたが20分の発声で、きれいな日本語になりました。

来と健康に不安を抱いている」と報道されました。先日サンフランシスコに住んでいる親友の Kouichi 君が4年ぶりに日本に一時帰国し、「日本人の自殺この10年で30万人」という由々しきことを話し合いました。

Kouichi 君の考えは、「1500年前の縄文人文化から弥生人が入り、戦いと競争社会に突入してしまった日本のなかで、自然と共に生きてきた縄文人のDNAとのギャップに耐えられない人たちが死んで行くのではないか。」という大胆推理。

作家の五木寛之先生は、「日本人が鞆いてきた。本気で泣かないから心から笑わなくなった。感動の薄さが自己存在の薄さにつながり自殺する。人生は辛く苦しいのが当たり前と覚悟し、ため息をついて腹の底から人生を嘆き悲しむことを奨める。」とおっしゃっています。

Kouichi 君は、「ここで僕たち日本人がもう一度、日本文化を通して心を潤し、競争でない共創の世の中の方がいいや、とシフトしてくれる人が増えるといいね。小夜子さんの仕事大事だよ」と私を励ましてサンフランシスコに帰って行きました。

私が演劇を通じてしたいことは、「あきらめない」「へこたれない」自分の作り方、ストレスに強くなる方法を教えること、日本人の本質は「明るく美しく優しい」ことを啓蒙すること、そして何よりも「生きている感動」をみんなで味わいたいということです。

この2年間で、童門冬二先生の『上杉鷹山』や『平家物語』、小松左京先生の『流れる女』『おえらびください』などを上演してきました。今年と来年は近松門左衛門です。ことばの力のある作品を今後も上演していきます。この世はなんてドラマに満ち満ちているんだと面白がりながら、私を必要としているところに出かけていきましょう。人生は旅、人生はドラマ。すべての人は自分の人生の主演。これからも日本の心を世界に伝えたいと思います。

城谷小夜子（しるたに きよこ）

NPO法人グローバルシアター和の輪代表。女優。プロデューサー。京都府生まれ。昭和51年明治大学を中退し、前進座に入座。25年間の在籍中、数々の舞台に立つ傍ら、海外活動に積極的に参加する。平成12年に退座し、翌13年に日本の伝統芸能を国内外に伝える「グローバルシアター和の輪」を設立する。http://www.wanowa.org

お便りコーナー

モナシュ大学日本研究センターがメルボルン日本語教育センターと ボランティア日本語アシスタント教師研修・派遣プログラムを開始

モナシュ大学 日本研究センター 教育プログラム担当 小川京子



オーストラリアの学校で正式な教師となるためには正規の教員資格を取得しなくてはならないが、最近、アシスタント、インターンシップという名で資格のない日本人ボランティアを受け入れる学校も増えてきた。しかし、日本語が話せても、それを教えるためには言語や教授法、社会文化についての十分な知識とそれを実践する能力が必要となる。そのため、実際に教育現場に立ってから戸惑うことも少なくない。

日本語教育のさかんなオーストラリアでは、以前から民間レベルでボランティア教師派遣プログラムがあったが、事前研修が不十分なために、こうしたボランティアの若者の熱意と学校側の受け入れ体制のずれが問題になることもあった。そこで、今回、豊富な経験を持つ人材を要する日本研究センターが二年間の準備期間を経て「ボランティア日本語アシスタント教師研修・派遣プログラム」の実施に踏み切ることになった。

日本研究センターはメルボルンで日本研究を講座として持っているモナシュ大学、ラトロブ大学、メルボルン大学、スウィンバン大学、ヴィクトリア大学の5大学による共同研究センターで、長年オーストラリアの日本語教育において中心的役割を果たしてきたモナシュ大学クレイトンキャンパス内にある。同センター内にオフィスを構えるメルボルン日本語教育センターは1996年から、ヴィクトリア、サウス・オーストラリア、タスマニアの3州のprimary school（小学校）465校、secondary school（日本の中学、高校にあたる）340校、計約800校に対し、教育省、及びヴィクトリア日本語教師会との強い連携のもとに教育支援活動を行っている。

このプログラムの主な特長は以下の通り。

- ・メルボルン日本語教育センター、大学・小中高校教師による専門的、実地的な派遣前研修と派遣中の研修・支援・相談
- ・派遣期間中のモナシュ大学の図書館、日本研究センター、ヴィクトリア日本語教師会、センター内の漫画ライブラリー&喫茶の会員証
- ・派遣中のモナシュ大学及び日本研究センター、ヴィクトリア日本語教師会、メルボルン日本語教育センター主催の研究会等への参加資格
- ・この経験を生かしてオーストラリアで正規の教員資格を取ることをめざす方のための支援

「現在オーストラリアで教師として活躍している日本人の中にはこのようなアシスタント教師を経た後、オーストラリアの大学で正規の教員資格を取得した人も多い。貴重な時間とお金を使ってオーストラリアの日本語教育を支援して下さる若者のために、この期間にできるだけ多くのことを体系的に学び、将来へつなげていっていただきたい」と時田アリソン所長。研修は年に2回。研修だけの参加も可能。

連絡先：

Japanese Studies Centre

Building 54, Monash University, Victoria 3800, Australia

プログラムの詳細：

<http://www.arts.monash.edu.au/mai/jsc/japanese/jscassist.html>

予約、お問い合わせ(日本語でどうぞ)：

Tel: +61 3 9905 2260 Fax: +61 3 9905 3874

japanese.studies.centre@arts.monash.edu



Monash Asia Institute Japanese Studies Centreの情報はHP
(上記アドレス参照)に掲載しています。

小川京子

東京女子大学文理学部日本文学科卒業。

国立国語研究所日本語教育長期専門研修 及び 同現職者特別研修修了。

Temple University教育学修士。国内日本語学校講師を経て、1993年から2000年まで、オーストラリアモナシュ大学社会人文学部アジア言語研究科（現文化・言語・言語学研究科）永久在職権付lecturer。現在は豪日教育・文化コンサルタントとして、各種プログラムのコーディネーション、翻訳などを行う。

E-mail: kyoko@japanworldmusic.com

<http://www.japanworldmusic.com/jindex.htm>

「お便りコーナー」では皆様からのお便りを掲載いたします。スリーエーネットワーク企画室宛に情報をお寄せ下さい。（「View from the Other Side」はお休みいたします）

あちこち 日本語 ご紹介

国内編



兵庫県
神戸市

外国人児童生徒への日本語指導・教科指導、
教材の開発、多文化共生教育

神戸市立本山第二小学校 国際教室担当
村山 勇

本校の児童数は、平成7年の震災後減少しましたが、復興が進むにつれて、校区内にマンションが建ちはじめ、現在は1200人近くです。教室が足りなくなっています。日本籍で海外で生活した後、帰国した児童も増加し80人程います。この中には、海外で長期間過ごした為、日本語指導を必要とする児童もいます。また外国人児童も年々増加し、ペルー、オーストラリア、インドネシア、韓国等から来ています。保護者が国際結婚という児童もいて、フィリピン、中国、韓国等の文化を継承しています。このような多様な背景の子どもたちのうち、現在は、10人が国際教室で取り出し指導で勉強し、10人が宿題の添削指導を受けています。

を学び、その方法を取り入れて指導しています。動詞のⅠ・Ⅱ・Ⅲグループ分け、ます形・普通形・い形容詞・な形容詞など、外国人児童に難しすぎるということはありません。従来の国語指導法では外国籍の児童には欠陥と無駄が多く、日本語教授法の方がずっと能率的です。日本語指導を担当する者は、日本語教授法を学び、取り入れるべきです。しかし、児童は大人ほど学習意欲が高いわけではありません。そこで、私は日本語教授法を児童向けに応用し、楽しく学べるようにカードやカルタ、双六、さいころ、替え歌などを作っています。

教科指導

他所では「外国人に日本語力がつくまで該当学年の教科書を学習しない」ということがよくあります。しかし、日本へ来たばかりだからといって、学習の中断はよくありません。児童は学校に来たその日から、すぐに学習を始めるべきです。そこで、私は、まず算数や理科の教科書の母語翻訳をし、母語で内容を理解させています。それから関連する日本語をカードにして、繰り返し覚えさせるようにしています。このような対訳の教材や暗記カードの作成は、近隣の大学生ボランティアも参加して、徐々に充実してきています。さらに、こうして開発した教材をライブラリー化し、近隣で外国人児童を受け入れている学校や県や市の語学派遣員、民間のボランティア団体等に提供し、連携を深めています。国語の教科書は重要視して、低学年の本から外国人児童が日本語・母語辞書を使いながら、精読しています。これで、辞書の使い方を身に付け、今後自主学習ができるようにしています。漢字は口唱法を用いています。「たて、かぎ、よこで口」とか「さん、ひと、ひで春」等と唱えながら覚える方法です。時には、外国人児童の母語の教科書を使い、母語能力の維持伸張を促しています。

て形の教え方

「て形の変化」は大人向けでは雪山賛歌の替え歌が定番となっていますが、児童はその歌を知らないのではとても難しいです。そこで、私は世界中の各言語にある「ABCの歌」を替え歌にしました。どうぞご自由にお使いください。

て形の歌 (ABCの歌の替え歌)

動詞の辞書形の末尾がこうなら、て形は、こうなります。(逆に歌うのも可)

「う・つ・る」は「つて」、

「む・ぶ・ぬ」は「んで」、

「す」は「して」、

「く」は「いて」、

「ぐ」は「いで」ですよ。

(ここまでⅠグループ)

「いて」(Ⅰグループの例外)、

「みて」(Ⅱグループのい列)、

「たべて」(Ⅱグループのえ列)、

「きて」「して」(Ⅲグループ)、

「おぼえて」(Ⅱグループのえ列)



「日本語ルーレットと暗記カード」

日本語教授法を児童向けに

近年、日本語教授法が確立され、多くの大学に日本語学科ができ、民間の語学学校では日本語教師養成講座が盛んです。しかし、まだ小中学校では、一般的にはなっていません。私は日本語教授法

あちこち日本語ご紹介

海外編



カンボジア王国
シェムリアップ州

アンコールワットの日本語教室

一二三日本語教室
鬼一二三

アンコールワットの町で始まった教室

シェムリアップと言っても知らない方が多いでしょうが、ここは世界遺産の「アンコールワット」で有名な町です。内戦終結後、田舎町から観光地へと急速に発展し、ここ数年間に大きなホテルが次々と建てられています。

私がこの地を訪れたのは1995年、日本人は数名しかいませんでした。日本の遺跡修復チーム等で働く現地の人々の要望で、自宅の一部を日本語教室に当てる事になりました。当初は朝5時45分から夕方6時から1時間ずつの2コマでした。カンボジアでは7時半には仕事が始まるので、仕事に行く前か、終業後に勉強したいと言う人が多いのです。



12世紀前半に建てられた世界文化遺産のアンコールワット

日本人の観光客が急増して

国が平和になりカンボジアやアンコールワットがマスコミに取り上げられるようになると、日本人観光客は急増しました。それにつれて日本語学習者もどんどん多くなり、学習者の希望に合わせてクラスを開講してきた結果、現在は朝6時に始まって全10コマ、夜9時に一日の授業が終わります。学習者は社会人が主ですが、学生や主婦もいます。15～38歳の約200名が月～金の毎日通って来ます。

入校時期は特に定めずに学習者が勉強を始めたいと思った日からすぐ入れるようにしています。授業料は20日毎に10米

ドルですが、時間に余裕のある時にできるだけ集中して学習して欲しいので、何コマ受けても一日としてカウントする事にしていますから、一日4～5時間勉強に来る人もいます。

お盆とお正月（4月）以外の祝日は皆勉強に来ます。元旦も休みではなく、剣玉やカルタ等の日本の遊びを紹介し、二日は書初めです。言葉だけの学習に留まらぬよう、ボランティアさんの協力で茶道や着付の体験、日本舞踊や邦楽の鑑賞、日本料理や折り紙、歌の指導なども行っています。

観光業に携った生徒からの“お土産”

ある程度の日本語が身に付くと、観光業に携わり、家計を助けられるようになる反面、勉強には来られなくなります。

毎日熱心に勉強に来ていた生徒がある日突然いなくなるのは淋しいものですが、学んだ日本語を使って働けるようになった事に教師として大きな喜びも感じます。就職後も時折「先生、今日は仕事が休みなんで勉強に来ました！」と嬉しそうに来てくれます。ガイド等日本人相手に現場で活躍している彼らが現れる時には必ず幾つもの“お土産”があります。それは流行語であったり、方言、諺、最近流行の歌等色々で、お客さんから聞いたことをメモに溜めてきた物です。正しい意味や用法を確認し、どのような相手にならうて良いのかが分かるまでは使いたくないと言うのです。なんと純真で、熱心な学習者達でしょう。

8年目を迎えて

教師1人の小さな教室で、以前は教材不足に悩みましたが、2000年度より国際交流基金の教材寄贈が受けられるように



夕方5時からのクラスに集まった生徒たちと筆者（前列左から2番目）

なり、少しずつ学校らしくなって来ました。同基金の日本語教師研修を日本で9カ月受けた教えるもいます。

2001年に当校は秋篠宮殿下紀子妃殿下のご訪問を受けました。王室に非常に敬意を抱いている国民性から「日本の王子様がお出でになった！」と皆大喜びでした。

カンボジアでは日本大使館主催の日本語スピーチコンテストが毎年催されていますが、第2回より今年の第6回まで毎回当校からの出場者があり、賞品として日本研修旅行も獲得しました。

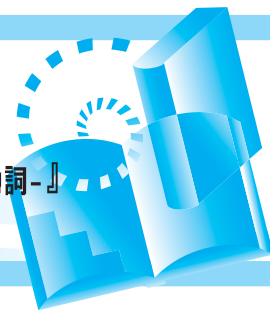
ところでカンボジアには本屋も図書館もありません。幼い頃から本が大好きだった私は本という物を見た事がない人がいるのにおどろきました。学校の教科書には図や写真がほとんど使われておらず面白みはありません。それで「123図書館」を併設し日本の皆さんから不要になった本を送って頂いて並べて漸く5千冊になりました。絵本を家に持ち帰り、家族に見せている生徒も多く、好評です。

現在の悩みは、教室一つの現状では増え続けるニーズに応えられない事です。ボランティアに来る人も多くなり、日本語教師を目指す教えるも増えているので、何とか施設を充実させたいと願っています。

皆さん是非一度お出掛け下さい。

教材紹介

『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現 -モダリティ・終助詞-』
『完全マスター漢字 日本語能力試験1級レベル』



『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現 -モダリティ・終助詞-』

京都外国語大学講師 中西久実子

このシリーズの特色 — ルールを自分で発見する —

上級レベルの学習者に「らしい」と「ようだ」の違いは何ですか。」と質問されることがあります。「勉強したことはあるのですが、うまく使うことができません。」と言われることもあります。「らしい」も「ようだ」も初級で学習する文法項目なのに、なぜでしょうか。

一輪車を乗りこなしたいと思っている子どもを例に考えてみましょう。もし、『一輪車の乗り方』という本があって、よく読んでそれを暗記したとしても、実際に一輪車に乗ったことのない子どもは絶対に上手には乗れません。一輪車に乗ってみて、ペダルを踏む力、バランスの取り方、タイミングが普通の自転車とは違うと気づき、「こんなとき、こうすればこうなる」という法則性を自ら発見しなければなりません。そして、その後も繰り返して一輪車に乗ってその法則性が正しいことを体得しなければ一輪車に上手に乗りこなせるようにはなりません。本書では、学習者が遭遇すると思われる文脈や場面を取り上げ、まず、用例から問題の所在を学習者自身が意識できるようにしました。次に文法のルールを自分で導き、さらにルールを確認しながら具体的な用例を見ていきます。最後に生の材料に則して練習をします。

本書の構成

上級レベルになると学習者は論文を読んだり書いたり、討論したりする機会が増えてきます。そんなとき客観的な事実とは区別して自分の気持ちをより適切に伝えなければなりません。本書では、場面や文脈に応じて学習者が自分の気持ちを細かく表現できるようなルールを学習します。文体に関する情報も取り入れていますので、日常会話で使う形式から論文やレポートを書くときに使う形式まで広く学習することができます。

本書で扱う項目は文末で話し手の気持ちを表す、モダリティ形式と終助詞です。日本語学では、通常、終助詞をモダリティに含めて考えますが、この本ではモダリティと終助詞を分けて2部構成にしました。

次に示すような疑問は本書で解決することができます。

- ・子どもがピアノを弾くのを聴きながら「前より上手になったようだ」と言えるが、「前より上手になったらしい」とは言えない。それはどうしてか。
- ・「彼の意見は正しいではないか」と「彼の意見は正しいのではないか」では、文の意味がどう違うのか。
- ・外国人が日本人の家に招かれて「この料理おいしいですよ」と言うと失礼な印象を与える。それはどうしてか。
- ・「おいしいじゃない？」と「おいしいんじゃない？」はどう違うのか。それぞれどんなときに使えばいいのか。

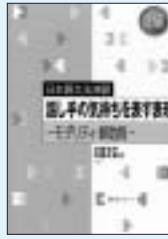
対象

上級日本語学習者だけでなく、日本語を教える先生方、日本語教師養成課程で学ぶ方々にもお使いいただけます。本書が一般

の文法書と違う点は問題を解きながら自ら文法のルールを発見するというプロセスを体験できることです。そのプロセスが何かを生み出すきっかけとなれば幸いです。

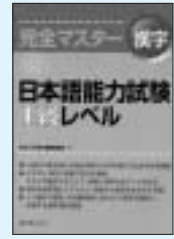
日本語文法演習
話し手の気持ちを表す表現
-モダリティ・終助詞-

B 5判 84頁 1,300円
著者：三枝令子 中西久美子



完全マスター漢字
日本語能力試験 1級レベル

B 5判 183頁(別冊22頁) 1,200円
著者：かたくり日本語教師会



『完全マスター漢字 日本語能力試験1級レベル』

かたくり日本語教師会 石井怜子

この本は、昨年刊行された『完全マスター漢字 日本語能力試験2級レベル』の続編として作成しました。

前書で私たちは、中級レベルの漢字学習の目標を、「造語力の高い基本的な漢字の読み書きを身に付ける」「漢字を文中で使える(漢字仮名交じり文が書ける)」ことに置きました。今回の上級レベルでは、「豊富で多様な漢字語彙(1級レベル)が読めて表記できる」「蓄積してきた漢字の知識を整理して応用力をつける」ことに置いています。「漢字語彙の意味理解を伴った漢字学習」という基本の考え方は変わりませんが、上級の漢字学習のあり方及び1級レベルの漢字の特色に基づいて、前書とは異なった工夫を凝らしています。

1. 本書の概要

1) 本書で扱っている学習範囲

常用漢字1945字から、2級漢字(1023字)及び第2水準漢字(19字)を除いた903字を中心に学習します。

2) 全体の構成

「第1部 訓読み」全11回と、「第2部 音読み」全19回の30回からなっています。各回はそれぞれ、漢字リストと練習問題からできている学習のページ(訓読みは3~4ページ、音読みは2ページ)とテストからなっています。

2. 本書の特色

1) 出題基準に準拠して、必要な音訓を網羅

1級漢字の音訓で、1級までの語彙に使われている音訓を網羅しました。さらに、2級漢字のうち、語彙が1級に該当するなどの理由で『完全マスター漢字 日本語能力試験2級レベル』では扱わなかった音訓を入れました。前書と合わせれば能力試験に必要なすべての音訓を学習することになります。

2) 訓読みと音読みを分離し、系統的に学習

訓読み・音読みとも、その漢字を用いた語彙の品詞と意味的カテゴリーに基づいて分けました。さらに訓読みは、難易度も考慮した提出順になっています。

3) 語彙の学習を重視し、イラストやクイズ形式が豊富

漢字の語彙理解を助け、学習者が興味を持って取り組めるように、136に及ぶイラストやクイズ形式問題を多く取り入れて、訓読みリストにはすべての語彙に例文が載っています。

3. 使い方と所要時間

- ① 2級漢字の学習が終わってから始めます。
- ② 回の順に学習し、どの回も学習のページで予習をし、テストで定着を確認します。
- ③ 1回分の学習所要時間は、40~60分程度、テストの所要時間は5~15分です。
- ④ 1回分をいちどにまとめて学習する必要はありません。学習者の受容能力を考え、1回を数回に分けて学習したほうが効果がある場合もあります。
- ⑤ 学習期間は、1~3、4カ月です。

4. その他、現職教師ならではのきめ細かい気配り

1) 学習者に役立つ知識と付録

学習者からよく聞かれる、連濁や字音語の音変化などの疑問に答え、漢字学習に役立つ知識が載せてあります。学習者が混乱しがちな(そして、能力試験でも狙われやすい)複数の訓読み・音読みのある漢字は、4~1級までをすべてまとめて整理してあります。

2) 未提出の漢字はすべてルビ付き

例文や問題文中にある語彙(問題のターゲットではない)で、未提出の漢字を含むものは、すべてルビをつけました。また、それらに使用する語彙は、原則として1級までの語彙に限っています。

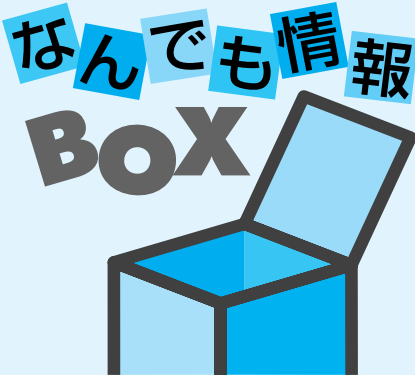
3) 指導に役立つ手引き付き

前書と同様に、指導上の留意点を詳しく解説してあります。

本書は、私たちが現場で使用しつつ、上級レベルの漢字学習の一方法として提起したものです。是非現場で使用してのご意見をお聞かせください。



本書の一例：第5回 動詞Cレベル(3)



セミナー SEMINARS



●『みんなの日本語初級Ⅰ』の教え方・大阪会場
 内容予定は1課～25課までを、全6回（1回：2時間半）に分け、各回参加できる形式です。
 日程：2003年11月22（土）、23（日）、24日（月）
 各日 10:30～13:00、14:00～16:30
 講師：田中よね、牧野昭子、重川明美、御子神慶子
 費用：全6回：22,500円（1回：3,750円）
 会場：AOTS 関西研修センター
 （講座参加者は宿泊可能です。お問合せ下さい）
 定員：各回20名（8名より開講）
 主催：スリーエーネットワーク
 協力：（財）海外技術者研修協会

●初心者のための『みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ』の教え方・東京会場
 東京会場は、2003年年末～2004年年始で現在検討中です。詳細は講座係までお問合せください。

以上、問合せ/申込み先：スリーエーネットワーク講座係
 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル
 TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197
 E-mail:ja-net@3anet.co.jp

●外務省共催シンポジウム「外国人住民と地域活動Ⅱ～広げようネットワーク～」
 日時：11月15日（土） 10:00～17:00
 会場：シルバーホール（文京シビックセンター4階）
 定員：100名（定員になり次第締め切ります）
 費用：無料
 申込み：はがき、FAXかE-mailに住所、氏名、電話番号と、参加希望の分科会（第1・第2希望まで）を明記し下記へ
 問合せ/申込み先：文京区国際協会
 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21
 TEL:03-5802-8422 FAX:03-5802-8400
 E-mail: bia@an.email.ne.jp
 総合コーディネーター
 栖原 暁（東京大学留学生センター教授）
 基調講演1
 「グローバル化とNGO活動」
 五月女光弘（外務省「NGO/NPO担当」特命全権大使）
 基調講演2
 「日本語ボランティアその成りたちとこれからのを考える」
 ビバ日本語教室代表 林川玲子（日本大学助教授）

ほん

BOOKS

みんなの日本語初級Ⅰ 導入・練習イラスト集	発売中	2,200円
聴解タスク25	11月発売予定	予価：2,000円
「みんなの日本語初級Ⅰ」で学習した文型と語彙を使って、無理なく聞き取りの力をつける練習問題です。CDには自然なスピードの会話を収録。本体60頁、別冊（スクリプトと解答）60頁、CD2枚付。		
みんなの日本語初級Ⅱ 翻訳・文法解説ロシア語版	発売中	2,000円
翻訳・文法解説ドイツ語版	発売中	2,000円
新日本語の中級会話場面・語彙イラストシート	発売中	1,800円
日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現-待遇表現-	発売中	1,300円
日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現-モダリティ・終助詞-	発売中	1,300円
語彙力ぐんぐん1日10分 BEM-VINDO À ESCOLA PRIMÁRIA DO JAPÃO ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド-ポルトガル語訳つき-	発売中	800円
完全マスター漢字日本語能力試験1級レベル Now You're Talking! -Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間	発売中	1,500円
	発売中	1,200円
	発売中	1,900円
英語圏の外国人向け入門日本語テキストです。20時間という短時間で必要最小限の日本語が学べます。ローマ字併記、英訳、CD付（会話、語彙、全練習問題を収録）なので独習も可能です。B5判、150頁。		
こどものにほんご1 絵カード	11月発売予定	予価：1,600円
「こどものにほんご1 絵カード」は「こどものにほんご1」に準拠した絵カードです。人物のイラスト13枚、動詞46語、形容詞38語をイラストで表し、クラスで使いやすいようカードにしました。		

提言と報告

「住民活動としての外国人支援-東京23区の日本語学習支援調査の結果から-」日本語学習支援研究会
 栖原 暁（東京大学留学生センター教授）

ネットワーク報告

「地域日本語ボランティアネットワークの現状と課題」
 埼玉日本語ボランティアネットワーク
 房総日本語ボランティアネットワーク
 東京日本語ボランティア・ネットワーク
 分科会
 1.学校教育と外国籍の子どもたち-1 [学習支援]
 2.学校教育と外国籍の子どもたち-2 [進路・進学相談]
 3.行政と日本語ボランティア
 4.外国人相談と地域住民活動
 5.地域にひらかれた日本語ボランティア教室をめざして

主催：文京区国際協会
 共催：外務省・日本語学習支援研究会
 後援：文京区・スリーエーネットワーク

**スリーエーネットワーク創立30周年記念行事
フォーラム「ことばと学び-昨日・今・明日-」**

多くの方にご参加いただきましてありがとうございます。報告書をまとめております。ご希望の方にはお送りします（12月予定。送料のご負担をお願いします）。
 問合せ：スリーエーネットワーク企画室
 TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197

お知らせ INFORMATION

●「みんなの日本語初級Ⅰ」語彙訳配布のお知らせ
 毎日の予習復習に、授業前の語彙チェックに。
 「翻訳・文法解説」にない言語を揃えました。
 ＊配布価格：800円 ＊装丁：B5判、56頁
 ＊書店での販売はございません。
 ＊配布中…中国語繁体字、イタリア語、ビルマ語、フィリピン語、グルジア語、モンゴル語
 ＊年内予定…ベトナム語
 ＊2004年配布予定…トルコ語、シンハラ語
 問合せ：スリーエーネットワーク企画室
 TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197

●HPは10月末にリニューアル予定です。
 現在HP上で『完全マスター語彙 日本語能力試験1・2級レベル』チェックシートをダウンロードで無料配布しております(PDFファイル)。授業の補助としてご利用下さい。http://www.3anet.co.jp/index.html

●皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。また本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をFAX等で編集室までお知らせください。無料でお届けします（国内のみとさせていただきます）。『Ja-Net』第28号は1月25日発行予定です。

Ja-Net 季刊 ジャネット No.27

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2003年10月25日発行

●発行人 藤野政子
 ●発行所 (株)スリーエーネットワーク
 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル
 Ja-Net編集室 TEL 03-3292-6410 FAX 03-3292-6197
 営業部 TEL 03-3292-5751 FAX 03-3292-6195
 http://www.3anet.co.jp E-mail: ja-net@3anet.co.jp
 日本印刷(株)

●印刷

© 2003 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)